

在ムンバイ日本国総領事館管内安全対策情報
平成25年度第3四半期（平成25年10月～12月）

1. 治安情勢及び一般犯罪情勢

(1) 治安情勢

ア ビハール州パトナにおいて10月27日、BJPの集会会場で発生した爆弾テロ事件を受け、ムンバイ市内においても重点的に警戒措置が取られた。2008年のムンバイ同時多発テロ事件から5年が経つが、治安機関は大型ショッピングモール、寺院等において継続的にテロに対する模擬訓練を行っている状況である。

また、9月にナヴィ・ムンバイ市内の裁判所から警護の隙をついて逃走し、治安機関が行方を捜索していたインディアン・ムジャヒディンのアフザル・ウスマニ被告が10月27日、潜伏先のウツタル・プラデシュ州で治安当局によって身柄を拘束された。

イ ナクサライトの動向に関して、マハーラーシュトラ州Gadchiroli県で警察部隊がナクサライトの地雷攻撃を受け警察官3人が死亡（10月17日）、ナクサライト所属の女性2人が同じくマハーラーシュトラ州Gadchiroli県で警察官部隊と交戦後死亡した（10月28日）。11月に行われた州議会選挙に対し、ナクサライトの攻撃に備え大規模な治安部隊がチャッティースガル州南部に投入された。同州Bijapur地区Basagudaでナクサライトの兵士2人がインド中央予備警察隊（CRPF）との戦闘により死亡（11月3日）、同州Sukma地区（州都Raipurから南へ約450キロ）において治安部隊の車両が地雷に触れ兵士2人が死亡（11月12日）、同州Bijapur地区でナクサライトの襲撃を受けたCRPFの兵士4人が死亡、3人が負傷した（11月27日）。

(2) 一般犯罪

殺人、強盗等の凶悪犯罪に加え、女性、年少者に対する性犯罪の発生が後を絶たない。外国人女性に対する性犯罪に関して、ゴア観光中の20代中国人女性がインド人3人にわいせつ行為を受ける（10月7日、3人は逮捕）、ムンバイ市Oshiwara地区で英国人女性にわいせつ行為をした30代インド人セールスマンを逮捕（10月20日）、同じくDadar地区で英国人女性2人が28歳インド人男性から性的いやがらせを受ける（11月2日）等数件発生しており、注意が必要である。

2. 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 殺人

邦人被害の事件は認知していない。

(2) 強盗

邦人被害の事件は認知していない。

(3) 強姦

邦人被害の事件は認知していない。

3. テロ・爆弾事件発生状況

期間中、テロ・爆弾事件の発生はなかった。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

期間中、テロ・爆弾事件の発生はなかった。

5. 対日感情

対日感情は良好である。